



# 消費者行動宣言

～わたしたちができるエシカル消費～

わたしたちは、国を越えた交流を通じて、SDGsに関する共通意識を持ち、正しい知識を学ぶとともに、持続可能な社会を実現し、わたしたちの未来を守るために、わたしたちひとりひとりができる取組を“実践”します。

## フードロス・フードマイレージを削減します。

大量の食品ロスの発生は、世界共通の課題です。まずは、わたしたちがすぐに行動できる、身近な取組から実践することで、世界のフードロス・フードマイレージの削減につながります。

- 地産地消を“実践”します。  
地元の食材を使用したレシピの活用や、食材の自家栽培を行います。
- 食材の選び方や保存の仕方を学びます。  
消費期限・賞味期限を理解し、食品のてまどりや冷凍保存を行います。
- 身近に使用できるデジタル技術を活用します。  
食品ロス削減につながるAIが導入されたアプリケーションなどを利用します。
- 食材を廃棄せずに有効活用します。  
廃棄される食材を循環して肥料にするなど、食材の有効活用を行います。

## 3Rなど環境への配慮を意識した行動を行います。

容器包装の廃棄も世界的な課題です。消費者として、環境への配慮について関心を持ち、選択することが大切です。わたしたちが身近にできる3R（リデュース、リユース、リサイクル）を意識して行い、環境負荷の軽減につながります。

- 環境配慮について、まずは関心を持ち、自ら調べます。  
グリーンウォッシュなどの問題にも関心を持ち、積極的に環境配慮についての知識を身に付けます。
- ゴミ削減の第一歩、リデュースを心がけます。  
マイディッシュ、マイ箸など再利用可能な食器を利用します。
- 環境負荷の少ないエコ容器を使います。  
竹、バガスなどが原料となる容器やリユース食器を意識して使います。
- リサイクルを促進するため、ゴミの分別を行います。  
リサイクル可能な資源の分別を行うとともに、周りの人たちにも呼びかけます。

## 持続可能な生産活動を支えるため、生産者への理解を醸成します。

エシカル消費のひとつである「地産地消」は、地元の生産者が作物を育てているからこそ実践が可能です。持続可能な消費活動を行う第一歩として、各国の生産者が抱える課題を知り、共有するとともに、理解を深めていくことが大切です。

- 生産者が抱える課題について理解します。  
課題の理解のために、フィールドワークなどの活動を行います。
- 生産者としての活動を行い、理解を促進します。  
生産支援・供給活動を実際に行うことで、相互理解を図ります。



エシカル消費をより多くの人理解し実践できるよう、わたしたちができる消費者教育を推進します。

わたしたちが“実践”できるエシカル消費を、ハンドブックなどを活用し、世界中のひとたちと共に学び、伝え合うことにより、社会全体の“行動変容”へつなげていきます。

